



教室不足から、1 教室あたりの平均児童数は 63.8 人（2002 年）であり、100 名近くなる場合もある。



教室数の足りない学校では、テントを利用して授業を行っているところもある。夏の日射が強く、冬の気温がマイナスになることもあるレソトでは、非常に厳しい学習環境となる。



教室不足のため屋外での授業（青空教室）を行っている学校も少なくない。夏の日射をよけるため、木陰での授業となる。



教育訓練省標準仕様に含まれる雨水タンク。多くの学校には給水施設がないため雨水が手洗い、農業用水に使われ、時には飲用水として使われる事もある。



教室清掃の様子。教師の指導のもと児童により窓ガラスふきが行われている。



児童による教室の掃除。ほとんどの学校では掃除当番制で、週 1 回のペースで行っており、室内を清潔に保っている。



2階建教室棟（8教室）

屋根は亜鉛鉄板葺き、壁は化粧レンガ積み、窓はスチールサッシ、扉は木製フラッシュ扉が標準仕様である。



同左、教室棟

1教室あたりの面積は64㎡。床はビニールシート貼り、壁はレンガ化粧積み仕上げで、窓はガラス窓であり、良好な学習環境となっている。



キッチン棟調理室内部

かまどの数は4つ。キッチン棟は調理室、食品庫、用具庫から構成される。



管理棟〈校長室〉

標準仕様には管理棟として校長室単独のタイプと、職員室+校長室+書庫のタイプがある。教室棟とは別棟である。



児童用便所棟

男女とも同仕様だが、男子用、女子用は別棟である。開口部が狭いため便所内は暗い。なお便所内に手洗いは無い。



職員用便所棟

仕様は児童用とほぼ同じ。レソトの文化的背景（大人と子供は同じ便所を使わない）から、児童用とは別棟である。